

# 外国語科学習指導案

東広島市立西条中学校

栗田 尚輝

- 1 日時 平成18年11月10日(金) 11:35-12:25(第4時限)
- 2 学年 第2学年・発展コース 23名(男子12名,女子11名)
- 3 単元名 New Horizon English Course 2(東京書籍)  
“Speaking Plus 2 電話の会話 取り次ぎを頼む”

## 4 単元について

### 単元観

本単元は電話による会話であり、「絵美は慎の家に行くつもりだが、マイクも誘おうと電話をする」場面である。そこで、既習事項である“May I ~?”を使って、“May I speak to ~, please?”という構文を、電話の応答で「話したい相手に取り次いでもらおう」場面設定の中で学習する。電話を通じて、自分の言いたいことを相手に伝えるという場面も設定されており、自己表現力を高めるのに適した単元である。

なお、1年次では電話を使った会話において基本的な応答の仕方を学習しており、本単元はその次のステップとして取り扱われている。

### 生徒観

このクラスは積極的な生徒が多く、発表の際にも多くの生徒の手が挙がる。また、ペアワークにおいてもお互い積極的に取り組む姿勢が見られる。しかし、自分の考えや気持ちなどを表現する際に、間違いを気にして消極的になる生徒もいる。そのため、生徒が間違いを恐れずに発表できるクラスの雰囲気づくりを心がけたい。

また、自己表現力が不足しているという実態があるため、毎時間自己表現の場を設けるように工夫している。本年度2年生が受けたNRT(全国標準教研式標準学力検査)と「基礎・基本」定着状況調査の結果は次のとおりである。

(NRT結果 領域別正答率)

|      | 西条中平均 |
|------|-------|
| 聞くこと | 93.9% |
| 話すこと | 85.8% |
| 読むこと | 77.6% |
| 書くこと | 69.7% |

(「基礎・基本」定着状況調査 領域別通過率)

|      | 西条中平均 | 県平均   |
|------|-------|-------|
| 聞くこと | 84.1% | 79.5% |
| 話すこと | 84.5% | 81.4% |
| 読むこと | 91.1% | 79.7% |
| 書くこと | 78.7% | 60.9% |

### 指導観

NRT、「基礎・基本」定着状況調査の結果より、本校の生徒は4領域の中で「話すこと」の力がやや不足している。本単元においては、自己表現力を高めることを主眼とし、これまで継続してきた基本的な会話のやり取りを引き続いて行う。また、本コースは発展コースであるため、教科書本文の暗唱のみではなく、ペアやグループで考えたスキットも含めて練習させたい。さらに、本単元で扱う表現の多くは電話以外の場面においても使用できるものであるため、汎用性を意識して習得させたい。

## 5 単元の目標

“ May I speak to ~, please? ”などの電話会話特有の表現を用いて、話したり応答したりすることができる。

## 6 単元の評価規準

|      | ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度                   | イ 表現の能力   | ウ 理解の能力                                 | エ 言語や文化についての知識・理解  |
|------|---|---|---|--|
| 聞くこと |   |   | (適切な聞き取り)<br>電話会話において、大切な部分を聞き取ることができる。 |  |
| 話すこと | (言語活動への取組)<br>言語活動において、自ら学んだ表現などを使っている。 | (適切な発話)<br>電話会話において、伝えたい内容を、適切な速さや声の大きさを相手にわかりやすく伝えることができる。 |   |  |
| 読むこと |   | (正確な音読)<br>正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて音読することができる。              |   |  |
| 書くこと |   |   |   | (言語についての知識)<br>“ May I speak to ~, please? ”などの電話会話特有の表現を理解している。 |

## 7 指導計画（全2時間）

|   | 学 習 内 容   | 評 価    |        |        |        |   |                                    |
|---|---|--------|--------|--------|--------|---|------------------------------------|
|   |   | 関<br>心 | 表<br>現 | 理<br>解 | 知<br>識 | 評価規準  | 評価方法                               |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ May I speak to ~, please? を含む文の意味の理解と文型練習</li> <li>・ 新出単語・語句・表現の理解</li> <li>・ 本文の内容理解, 音読練習</li> </ul>                     |        |        |        |        | ア 言語活動において,自ら学んだ表現などを使っている。<br>イ 正しい強勢,イントネーション,区切りなどを用いて音読することができる。  | Q&A<br><br>活動の観察<br>後日音読テスト        |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ May I speak to ~, please? を含む文の文型復習</li> <li>・ 新出単語・語句・表現の復習</li> <li>・ 音読練習, スキット練習</li> <li>・ 文型の復習</li> </ul> <b>本時</b> |        |        |        |        | イ 電話会話において,伝えたい内容を,適切な速さや声の大きさを相手にわかりやすく伝えることができる。<br>ウ 電話会話において,大切な部分を聞き取ることができる。<br>エ “ May I speak to ~, please?” などの電話会話特有の表現を理解している。 | 活動の観察<br><br>聞き取りテスト<br><br>ワークシート |

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・ 電話を使って会話を行う中で,自分の考えなどを的確に相手に伝えることができる。
- ・ 電話の内容について大切な情報を聞き取ることができる。

### (2) 本時の評価規準

#### 表現の能力

- ・ 電話会話において,伝えたい内容を,適切な速さや声の大きさを相手にわかりやすく伝えることができる。

#### 理解の能力

- ・ 電話会話において,大切な部分を聞き取ることができる。

#### 言語や文化についての知識・理解

- ・ “ May I speak to ~, please?” などの電話会話特有の表現を理解している。

### (3) 準備物

ワークシート, カード(ゲーム用), パソコン, スクリーン, プロジェクター, スピーカー

(4) 学習の展開

|     | 学習活動  | 指導上の留意点  | 評価規準  | 評価方法                                      |
|-----|---|--|---|---|
| 導入  | <p>普段よく使う単語や基本的な会話文の発音練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・会話の練習</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な流れで会話ができるようにさせる。</li> </ul>   |   |   |
| 展開  | <p>助動詞の基本的な用法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“ May I ~ ? ” の復習</li> </ul> <p>新出単語を理解し,本文全体の内容を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語・表現の理解</li> <li>・音読(全体 ペアで)</li> </ul> <p>この単元に出てくる表現を参考にしながら,インフォメーションギャップ活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話会話におけるスキット活動</li> </ul> <p>必要な情報をメモを取りながら聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留守番電話の聞き取り</li> </ul> <p>本時の学習事項の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート活動</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを使ってテンポよく行う。</li> <li>・正しいアクセント,発音で練習できるようにさせる。</li> <li>・会話文として本文が読めるようにさせる。</li> <li>・さまざまな形態で音読練習を行わせる。</li> <li>・本文の暗唱を目指させる。</li> <li>・場面設定を大切にし,生徒が活動的に参加できるように工夫する。</li> <li>・教科書以外の表現も考えさせる。</li> <li>・やや発展的な内容も含める。</li> <li>・書くことで本時の既習事項を確認させる。</li> </ul> | <p>イ 電話会話において,伝えたい内容を,適切な速さや声の大きさで相手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>ウ 電話会話において,大切な部分を聞き取ることができる。</p> <p>エ “ May I speak to ~, please? ” などの電話会話特有の表現を理解している。</p> | <p>活動の観察</p> <p>聞き取りテスト</p> <p>ワークシート</p> |
| まとめ | <p>本時の学習を振り返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業内容についてのまとめを行う。</li> </ul>   |   |   |